



社会基盤工学講座  
准教授  
くれ いちろう  
呉 修 一  
(1979生)  
工学博士  
(中央大学・平 20)

■経 歴

中央大学理工学部土木工学科卒 (平 15.3) / 中央大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士課程修了 (平 17.3) / 中央大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程修了 (平 20.3) / カリフォルニア大学デービス校博士研究員 (平 20.4 ~ 24.3) / 北海道大学大学院工学研究院博士研究員 (平 24.4 ~ 24.9) / 東北大学災害科学国際研究所助教 (平 24.10 ~ 平 28.3) / 富山県立大学工学部准教授 (平 28.4 ~)

|       |  |
|-------|--|
| 担当科目  | 河海工学 / 測量学 I / 測量実習 I, II / 環境プログラミング / 社会基盤工学概論 / 富山と日本海 / 環境論 / 応用河海工学 (大学院)   |
| 専門分野  | 土木工学 / 海岸工学 / 河川工学 / 水文学   |
| 論文・報告 | 「降雨流出モデルの普遍的適用に向けた物理アプローチ」(学位論文)<br>「台風 1330 号ハイエンに対するフィリピン・レイテ島河川の洪水応答特性」(土木学会論文集 B1, 2015)<br>「液状化を考慮した津波の戻り流れによる構造物周辺の洗掘メカニズム」(土木学会論文集 B2, 2015)<br>「ジャカルタ洪水を引き起こす様々な社会問題と 2013 年 1 月洪水の特徴」(土木学会論文集 G, 2014)<br>「インドネシア・ポロン川における泥火山噴出物の流出・堆積状況」(土木学会論文集 G, 2013)                              |
| 所属学会  | 土木学会 (平 14.10 ~) / 水文・水資源学会 (平 15.6 ~) / 日本自然災害学会 (平 25.4 ~)   |
| 学会委員等 | 土木学会水工学委員会水害対策小委員会水害調査 WG / 土木学会水工学委員会水文部会・河川部会委員 / 水文・水資源学会編集出版委員 / 水文・水資源学会企画事業委員  |
| 学外活動  | 国土交通省北陸地方整備局総合評価審査委員 (令 1.4 ~)<br>宮城県大江川学識者懇談会 (平 28.2 ~)  |
| 受賞歴   | 建設工学研究奨励賞 (平 26.4) / The 6th Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources Conference 優秀講演者賞 (平 25.3) / The 4th Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources Conference 優秀講演者賞 (平 23.10) / 水文・水資源学会 2008 年研究発表会優秀ポスター賞 (平 22.8) / 水文・水資源学会 2006 年研究発表会最優秀ポスター賞 (平 18.8) |

現在の研究課題

1. 津波・高潮・高波の予測手法の開発  
津波・高潮の被災メカニズムを明らかにするための現地調査や、富山湾における津波・寄り回り波の予測手法の開発に取り組んでいる。
2. 洪水の予測・減災手法の開発  
洪水被害の軽減に向けて、純然たる物理過程に基づく降雨流出・氾濫モデルの開発・適用を日本と世界各地を対象に行っている。
3. 地球温暖化の影響評価  
地球温暖化が洪水・高潮等を与える影響評価を目的として、気象モデルを用いた動・統計的なダウンスケーリング手法の開発などに取り組んでいる。

共同研究キーワード

海岸防災 / 洪水予測 / 沿岸環境保全 / 地球温暖化